科目名	60. 様々な場で暮らす高齢者の看護				
履修年次	2年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	健康状態や生活機能が低下した老年期にある対象とその家族及び支える人々への看護が理解できる				
到達目標	様々な場で暮らす老年期にある対象への看護を表現することができる				
評価方法	筆記試験（30点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（70点）による総合評価を行う				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　病態・疾患論　医学書院 生活機能からみた老年看護過程　+病態・生活機能関連図　医学書院				
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	この科目では、加齢・疾病・障害により健康段階と生活機能が低下した老年期にある対象やその家族及び支える人々への看護の基礎的知識を学びます。様々な場で暮らす高齢者への実際の援助方法を考えてほしいと思っています。地域で生活をされている老年期にある人々と同様に、生活する場所が変わっても加齢の変化や疾患を持ちながら、その人の今までの生活を基盤としその人らしく健やかな生活が送れるような看護を考えてほしいです。老年看護学の入口で学んだ知識や経験も踏まえ、対象を理解していきましょう。事例をもとにグループワーク・実技を繰り返すことで、対象に向けた看護を考え続けていきます。多様な価値観に触れ、思考力・実践力を身につけていきましょう。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	講義概要	講義概要と評価の説明 / ビジョン・ゴールの設定 事例紹介	講義
2	さまざまな場で暮らす高齢者の看護	情報整理・アセスメント	講義
3	さまざまな場で暮らす高齢者の看護	情報整理・アセスメント	講義
4	さまざまな場で暮らす高齢者の看護	情報整理・アセスメント	講義

5	さまざまな場で暮らす高齢者の看護	情報整理・アセスメント	講義
6	さまざまな場で暮らす高齢者の看護	情報整理・アセスメント	講義
7	さまざまな場で暮らす高齢者の看護	中間カンファレンス 短期目標・長期目標	講義
8	さまざまな場で暮らす高齢者の看護	計画立案	講義
9	さまざまな場で暮らす高齢者への支援	施設の特徴と施設で暮らす高齢者への看護	講義
10	さまざまな場で暮らす高齢者への支援	施設での多職種連携、アプローチ	講義
11	さまざまな場で暮らす高齢者への支援	生活空間の工夫、看取りに向けた取り組み	講義
12	さまざまな場で暮らす高齢者の看護の実践	実践	演習 (実習室)
13	さまざまな場で暮らす高齢者の看護の実践	評価・振り返り	講義
14	さまざまな場で暮らす高齢者の看護の実践	実践	演習 (実習室)
15	アセスメント・まとめ	アセスメント・まとめ	講義